

平成 29 年 2 月 22 日  
消防庁 国民保護室

第 2 回防災・危機管理セルフチェックシステムにおけるチェック項目策定に関する  
検討会での主な指摘事項と消防庁の対応案

○ 大項目・中項目は、市区町村に活用してもらうために作成しているのか。

(消防庁回答)

システムに大項目及び中項目を記載することは難しいが、セルフチェックシステムの項目についての解説を作成する方針であり、その解説に大項目及び中項目を記載し、市区町村に参考にしていただくこととした。

○ チェック項目を時系列ごとに分けた方がいいのではないかと。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、災害対応業務の時系列に合わせ、項目を整理した。

○ 項目の根拠となっている「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」については、年度内に大きく改訂することとなるが、改訂内容について、チェック項目に反映すべきではないかと。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、1 月 31 日に改訂された「避難勧告等に関するガイドライン」の内容を反映した。

○ 項目を見てみると、マニュアル・ガイドラインのチェック項目の一部分のみを強調しているように思われるが、本当に重要である部分が項目として選定されていない。項目選定の時点でミスリードを引き起こす可能性はないかと。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、防災基本計画に基づき項目を整理することで、ミスリードを引き起こすことがないように、確認を実施した。

○ 質問内容が類似している項目については、項目表の中で、ある程度近くに整理するよう、順番を入れ替えた方がいいのではないかと。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、災害対応業務の時系列に合わせて項目を整理した。また、項目の整理にあたっては、防災基本計画の構成を参考とした。

○ 市区町村の負担等を考慮した場合、項目を集約した方が良いのではないかと。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、項目数を 58 項目に集約することとした。

○ 文字数の限界にもよるが、質問項目の中で根拠等を文章で示した方が良いのではないかと。

(消防庁回答)

質問項目については、できる限り簡略化し、わかりやすい文章で示す方針であることから、根拠等を文章ですべて示すことは考えていないが、根拠等については、別途作成する項目の解説で明示する方針である。

○ 第 2 回の項目案の中で、「根拠無し」と整理されている部分については、防災基本計画等が根拠となる可能性が高いので、もう一度確認をすべきである。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、防災基本計画を参考に、根拠を記載した。

※各項目に対する質問については、今回改めて整理を実施したことから、項目案についての説明の際に説明することとしたい。